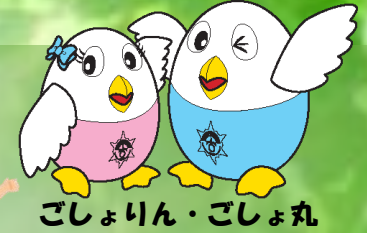




学校教育
目標

あかるく すなおな 五小の子



ごしょりん・ごしょ丸

自分の考えをもち、わかりやすく伝え合することができる。

- 筋道を立てて考えることができる。
- わかりやすく人に伝えることができる。
- 友達の考えを聞き、自分の考えをより良くすることができる。



自分の大切さがわかり、友達のよさもわかる。

- 気持ちのよい返事や、あいさつができる。
- 自分に自信をもって取り組むことができる。
- 困難なことにも挑戦し、心身ともに成長するよう努力することができる。



児童一人一人を大切にしながら、それぞれの児童が笑顔でたくましく成長していくための教育活動を推進します。

学校教育目標

具現化のために

基礎・基本を確実に
定着させる学習環境づくり

授業の充実（導入と振り返り）
授業と連動した家庭学習
朝自習の工夫
読書活動の充実



考える時間、表現する時間
を確保した授業づくり

タブレット端末等
思考ツールを活用した指導
授業展開の工夫



お互いのよさを認め合える
人間関係づくり

縦割り班活動の充実
全校児童でつくる学校行事
温かい雰囲気学級の環境



自己への関心を高める健康・
体力づくり

偏食をなくす食育
運動の日常化



学年・学級経営の 重点施策

評価指標

授業の終わり5分を学習の
振り返り（書く時間）とする。

県学力診断のためのテスト
国語・作文問題（県平均以上）
読書50冊以上100%

「10のつなぎ言葉」やICT
機器を積極的に活用する。

県学力診断のためのテスト
6年全国学力調査B問題
（県平均以上）

学級活動における話し合い活動
を充実する。

年2回のQ-Uテスト
（自己有用感100%）

持久力を高める運動の機会
を積極的に設定し、運動の日
常化へとつなげる。

体カテスト
シャトルラン
（県平均以上）



SDGsを取り入れたESD(持続可能な開発のための教育)の視点に立った学習・活動の実践